

相模湾の アオリイカ春の 好期到来

相模湾腰越港出船

撮影◎訓覇啓雄

●大磯沖で上がった当日最大1.8キロ。本格化する初夏は2キロオーバーも期待大

●海面から30メートル前後のタナを狙った



相模湾で大型のアオリイカが上がっている。春〜初夏になると産卵のため浅場に移動してくる個体は大半が1キロオーバー、中には2キロ級も交じる大型狙いの好期。

腰越港の蒼信丸で取材した3月下旬は潮が流れず数はのびなかったものの、1.8キロと1.1キロが浮上し乗っ込みの到来を感じさせた。

同船の釣り方は中オモリを使った昔ながらの餌木シャクリ。指示ダナに合わせてシャクリを繰り返すだけのシンプルな釣りながら、大型を手にするチャンスはだれにでもある。

(詳細は54ページ参照)



●この日は3.5メートル級の長竿を使う人が多かった



●この原理でキュイッとシャクリるので体力的な負担も少ない



▲後半は平塚沖まで移動し、最後は大磯沖に到達



▲餌木の標準サイズは4号

●中大型のスマイカやカミノリイカも交じる



●前半は江ノ島周り〜エボシ岩周りを転々と流した



●1.1キロ。この時期は数は少なめだが乗ればデカイ!